

次号予告

とびら

リハビリテーションと日本人、および教育九州リハ大 佐 藤 剛

特集=痛み

痛みの生理学的機序と麻酔科治療関東通信病院 若 杉 文 吉
 痛みに対する寒冷療法都養育院 松 村 秩
 痛みに対する温熱療法九州リハ大 島 田 智 明
 腰痛症の鑑別診断と Physical Therapy日本医大 石 田 肇
 片まひの肩の痛み七沢病院 松沢 博, 他
 作業療法による痛みとその対処の仕方名古屋保健衛生大学病院 吉 村 澄 江
 痛み雑感.....東大 上 田 敏
 " 都養育院 荻 島 秀 男
 " 神奈川リハセンター 佐 藤 馨
 " 村山療養所 加 藤 栄 昭
 " リウマチ友の会
 " 厚生省 矢 島 昭 子

研究と報告

老人の関節可動域の研究浴風会病院 伊 藤 直 栄
 書字による利き手変換神奈川リハセンター 井 神 隆 憲, 他

Q and A Q 自治医大 谷 岡 淳
 A ゆうかり園 谷 合 義 且

メディカルプロGRESS東大病院 上 田 敏
 都養育院 荻 島 秀 男

編集後記

待望久しい作業療法の点数化と整形外科機能訓練, 身体障害者作業療法等に係る施設承認基準の制定に伴い, あちこちのリハビリテーション医療施設でのセラピストの獲得合戦, 承認基準に合せんとする施設の拡充がにわかに激しさを加えている様子です。点数が上がり稼ぎが多くなっても即セラピストの技術や知識の向上につながるとは限らないし, 率直に保険点数の改定を喜んで良いものか迷ってしまいます。しかし, いままで苛められた日蔭の職場(主に経営上の理由から?)に微光が差し込んだのは事実だと思います。

願わくは, 施設の基準は当然のこととして更に, その業を成長せんがために実際に現場で頑張っている者の処遇の改善とリハビリテーションに従事する専門家がそれぞれの専門性を深慮しチー

ムとしての訓練を積むことによって真のチームプレーが達成されるような方向づけを検討せねばと思います。このような意味からも, 今月号にはそれに値する立派な内容が盛られ大いに参考になるものと確信します。

砂原, 上田先生の対談講座は今回で終了ですが, 知識経験ともに豊富な両先生の5回にわたる教授は, 進むべき一つの道標をセラピストに与えて下さいました。

佐藤先生のモダブツと作業療法は新しい動作分析として興味を感じますし, 中村先生の SMON の理論と実際は SMON に対するアプローチの仕方をも克明に教示いただけたと思います。

座談会 PT, OT と医師は, 今回医師に司会と発言をいただきましたので前回よりも内容が一方通行でなくセラピスト側にも考えさせられる点が指摘されています。(谷岡 淳)

編集顧問

天 児 民 和
九州労災病院長

五 味 重 春
府中リハビリ学院長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科
(五十音順, 以下同じ)

編集委員

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
都養育院リハビリ部

佐 藤 馨
神奈川リハセンター

鈴 木 明 子
府中リハビリ学院

谷 岡 淳
自治医科大学

田 村 美枝子
リハビリ学院

寺 山 久美子
都心障センター

松 村 秩
都養育院リハビリ部

編集同人

明 石 謙

大 井 淑 雄

大 川 嗣 雄

大 橋 博

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

小 林 夏 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 剛

田 原 澄 彦

富 岡 詔 子

奈 良 勲

藤 沢 しげ子

藤 本 欽 也

前 田 守

松 本 妙 子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

横 山 巖

和 才 嘉 昭

(担当 細田・岩元・松橋)